

新登録答申文化財概要（三重県）

● 清風亭玄関棟 等 2件 （名張市）

【名 称】 清風亭 玄関棟、客室棟 計2件
せいふうてい げんかんとう、きやくしつとう

【種 別】 国登録有形文化財（建造物）

【所 在 地】 三重県名張市鍛冶町91番地

【年 代】 玄関棟：大正3（1914）年、昭和39（1964）年改修、平成10（1998）年改修
客室棟：大正3（1914）年、昭和39（1964）年改修、平成26（2014）年改修

【建築面積】 玄関棟：89㎡、客室棟：99㎡

清風亭は名張市鍛冶町の名張川沿いにあり、大正3年に川魚料理・旅館として創業しました。現在は、宿泊業はしておらず、飲食のみを提供する川魚料理店として営業しています。

玄関棟は通りに面した二階建切妻造平入棧瓦葺の建物で、外観は1階が出格子（でこうし）、2階が格子構えで通りの景観を形成しています。1階には玄関ホールと待合室があり、待合室の横には2階へと続く階段があります。玄関棟と客室棟との間には中庭となっており、川魚を入れておく生け簀があります。2階には客室棟へと続く渡り廊下があり、吹抜けから1階中庭を望むことができます。

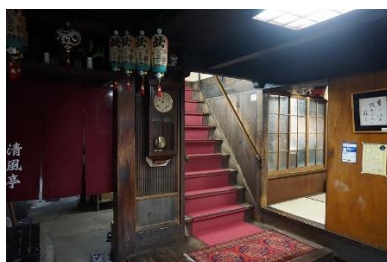
客室棟は玄関棟の南に位置し、名張川に面する二階建切妻造棧瓦葺の建物です。1階は6畳の客室が2室、厨房、配膳室があり、2階は10畳の客室が3室あり、襖を外せば大人数が利用できる大広間として使用することもできます。南側の縁側はガラス格子窓になっており名張川の景色を一望できます。

清風亭は、名張市出身の江戸川乱歩をはじめ、今東光（こんとうこう）、瀬戸内晴美（寂聴）、開高健（かいこうたけし）、陳舜臣（ちんしゅんしん）など多くの文豪が訪れ、愛されたことでも知られています。

このように清風亭は、川魚料理店として多くの人に親しまれ、名張川沿いの景観を形成する貴重な建造物です。



玄関棟外観（北から）



玄関棟階段



玄関棟2階吹抜



客室棟外観（南から）



客室棟2階大広間



客室棟2階西側客室

新登録答申文化財概要（三重県）

● 星家住宅主屋 1件 （伊賀市）

【名称】 星家住宅主屋 計1件

ほしけじゅうたくおもや

【種別】 国登録有形文化財（建造物）

【所在地】 三重県伊賀市上野小玉町 3081 番 1

【年代】 明治 40（1907）年頃

【建築面積】 108 m²

星家住宅主屋は、かつての上野城下町の一角、伊賀市上野小玉町（こだまちょう）に所在します。

この場所は、江戸時代末には町屋として利用され、その後、藤堂家の御殿医（ごてんい）であった中村玄瑞（げんずい）が明治 13（1880）年に医院を開業し、居宅としていたと伝わっています。明治 40 年頃に星家が購入した際に大規模改修したとされています。

建物の構造は、つし二階建入母屋造妻入棧瓦葺で、1階は出隅（ですみ）に格子を廻らし、2階は真壁（しんかべ）に格子窓を開けています。これらは江戸時代末の創建である寺村家住宅主屋（国登録有形文化財 伊賀市上野福居町）にもみられる特徴であり、古くからの城下町の建物の様相をよく残しています。

内部は、1階南西に玄関を設け、東西 2列 6室の部屋を配置し、南東隅に 8畳の床構え付きの座敷があります。城下町の長屋などによくみられるトオリドマではない点も角地にある建物の特徴です。

このように星家住宅主屋は上野城下町の景観を形成する貴重な建造物といえます。

なお、建築年代は不明な点が多いため、明治 40 年頃の大規模改修以前としています。



外観（北西より）



外観（西より）